

令和8年度 第1回 弥富市議会「出前カフェ」報告（会議録）

主 催：弥富市議会
日 時：令和8年7月18日（土）午前10時～午後0時
場 所：みなともまちなか交流館 3階会議室
申込団体：ともに会
テ ー マ：「市の財政について」
参 加 者：ともに会 15名
出 席 者：議会8名（正副議長、議会運営委員会）

編集方針

本記録は、第1回弥富市議会「出前カフェ」の録音文字起こしを基礎とし、当日のメモ及び参加議員による整理資料を照合した上で、当日の意見交換の内容が第三者にも理解できるよう整理したものである。

録音の自動文字起こしには多数の誤変換が含まれていたため、前後の文脈から明らかなものを修正し、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複、言いよどみ、相づち等を整理した。

発言者個人の特定は原則として行わず、「市民側」「議会側」として記載する。

したがって、本記録は逐語録ではなく、出前カフェにおける対話の内容をできる限り正確に残すための整理記録である。

なお、冒頭に申込団体側から、市が実施した出前講座の資料等を基に財政状況の説明が行われたが、本記録では市民と議会との意見交換を中心に残す趣旨から、その説明部分は概要のみとした。

1 開会・開催趣旨

【市民側・進行】

弥富市の財政が厳しいと言われている中で、市民と議会が直接話し合える場として出前

カフェを開催していただいた。今回は初めての出前カフェと聞いている。市民と議員との距離はまだ遠いと感じているので、こうした機会を通して距離を縮めたい。

本日のテーマは「市の財政について」。市の財政が厳しいという話はよく聞かすが、まずその状況について共通認識を持った上で、市民としてどう考えるか、議会としてどう考えるかを話し合いたい。参加された皆さんには、ぜひ一度は発言していただきたい。

【議会側】

今回が議会として初めての出前カフェとなる。

財政というテーマは難しく、普段なかなか関心を持ちにくい分野でもあるが、「財政が厳しい」と言われる中で、何が厳しいのかを知り、関心を持っていただくことは大切。本日の時間が、市民の皆さんと議会双方にとって有意義なものとなるよう、率直な意見を伺いたい。

【財政説明】

市が実施した「まちづくり出前講座（財政）」の資料や中期財政計画等を基に申込団体側から弥富市の財政状況について説明が行われた。以下、意見交換を中心に記録する。

2 財政状況について

【市民側】

中期財政計画を見ると、将来負担比率が今後上昇する見込みとなっている。物価高騰や JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業など、今後さらに事業費が増える可能性もあるのではないかと。市の借金が増えていくことに不安がある。「財政が厳しい」と言われるが、弥富市は赤字なのか、具体的に何が厳しいのかを知りたい。

【議会側】

市税収入などは増えている一方、人件費、扶助費、施設維持費など毎年必要となる経費がそれ以上に増えており、新しい事業や市民サービスに自由に使える財源が少なくなっていることが財政の厳しさの一つである。中期財政計画は予算ベースの試算であり、実際の決算とは差が生じる可能性があるが、将来負担が増える方向にあることには注意が必要である。

【市民側】

歳入は約 200 億円まで増えているのに、なぜ財政が厳しいのか。人口が増えているわけではないのに、市税収入が増えているのはなぜか。

【議会側】

大型事業や扶助費の増加に伴い、国・県補助金や市債も増えるため歳入総額は増えるが、自由に使える財源が同じように増えたわけではない。

弥富市は固定資産税の割合が高く、臨海部の工場や物流施設からの税収が大きな財源となっている。市民税についても所得等の影響を受ける。

【市民側】

市債が増えるということは、結局、市の借金が増えるということではないか。将来世代への負担を十分考える必要がある。

【議会側】

市債は自治体の借金ではあるが、日常的な運営費の不足を自由に穴埋めするためのものではなく、道路や公共施設など将来にわたり利用する施設整備等に活用するもの。必要性や返済能力を考慮して活用する必要がある。

【市民側】

扶助費はなぜ増え続けるのか。

【議会側】

高齢化、障がい福祉、子育て支援などの需要増が要因となっている。簡単に削減できる経費ではないため、健康づくり、介護予防、自立支援などを進めることも重要である。

3 産業振興・工業団地と将来の税収

【市民側】

新しい工業団地はいつ頃完成するのか。企業誘致によって将来どの程度の税収増が期待できるのか、市民にも分かりやすく示してほしい。

民間企業なら投資の際に投資効果を検討する。行政の大型事業についても、将来どのような効果が見込まれるのか分かりやすい資料が必要ではないか。

【議会側】

西末広工業団地は令和 10 年度から造成工事に入り、令和 13 年度には完了予定である。

企業誘致が進めば固定資産税などの税収増加が期待できる。一方で、道路やインフラ整備などの先行投資も必要であり、長期的な視点で進める事業である。

道路整備や産業基盤を整え、企業に来てもらい、そこで働く人を増やし、市内への定住にもつなげていくという考え方がある。

大型事業は現在の支出だけでなく、将来の税収、人口、まちづくりへの効果も含めて考える必要がある。

4 市民サービスと財政の優先順位

【市民側】

公園の遊具が壊れても直されない、福祉センターのカラオケ設備がなくなるなど、身近な市民サービスが低下していると感じる。地域の環境保全についても、財政が厳しいという理由で十分に行われないのはおかしい。

財政が厳しいことは理解するが、市民生活に身近なところを削る一方で、大型事業には多額のお金を使うことに疑問がある。

【議会側】

公共施設の維持管理や行政サービスについては、財政状況とのバランスを取りながら対応する必要がある。利用する方にとって設備がなくなることは大きな不便となる一方、公共施設には利用する人と利用しない人との公平性、いわゆる受益者負担の考え方もある。

ただし、設備等を廃止する場合には事前に利用者へ説明することも重要である。

【市民側】

行政サービスなのに利用料や各種手数料が上がっている。受益者負担が上がることには不満がある。カラオケだけの問題ではなく、公園、道路、水路、草刈りなど、まち全体の維持管理が以前より行き届かなくなっていると感じる。

地域でも高齢化が進み、以前は住民でできた草刈りなども難しい。

水路が草で詰まれば大雨時の浸水にもつながる。

【議会側】

施設維持管理には多額の費用がかかるため、一定の受益者負担をお願いする考え方がある。

一方、市民生活に直結する道路、公園、水路等の維持管理は重要であり、市民への説明や地域からの要望も踏まえて検証していく必要がある。

【市民側】

市役所の開庁時間短縮も市民サービスの低下ではないか。ワーク・ライフ・バランスは組織内部で解決すべき問題で、市民サービスを低下させることで解決するのは違うのではないか。

【議会側】

窓口業務の前後には準備や事務処理があり、実質的な時間外勤務につながっていたという背景もある。

一方で、市民の利便性については引き続き検証していく必要がある。

【市民側】

その説明だけでは納得できない。市民サービスをどう維持するかという視点から、引き続き考えてほしい。

5 議会基本条例と議会の役割

【市民側】

議会基本条例には、市民福祉の向上、市政の発展、財政基盤の強化などが掲げられている。条例自体はよくできていると思うが、現在の議会運営や財政状況が本当に理念に沿っているのか疑問を感じる。

議会は行政を十分チェックしているのか。財政状況をもっとしっかり見てほしい。

【議会側】

議会として大型事業や財政について審査・議決を行っている。条例の理念を踏まえ、健全な財政運営を目指すことが必要であり、今回いただいた意見も今後の質問、予算・決算審査、行政への提言などに生かしていきたい。

【市民側】

財政基盤を強化するためには、支出を抑えるだけでなく、積極的な投資や産業振興も必要ではないか。弥富市は名古屋に近く、土地もある。企業誘致や新しいまちづくりなど、将来に向けた明るい話をもっと示してほしい。

【議会側】

自治体間でも住みたいまちをめぐる競争がある。何もしなければ人口減少が進み、地域の活力も失われる。道路や駅周辺などの都市基盤を整備し、企業や人を呼び込み、将来の税收や定住につなげていく視点も必要である。

6 JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業について

【市民側】

駅周辺整備について、北口ができること自体は良いと思う。

しかし、弥富市だけの事業として考えるのではなく、県や国、鉄道事業者などをもっと巻き込み、広域的な事業にできないか。弥富市単独の負担を減らし、より大きな効果を生む方法を考えてほしい。

【議会側】

在来線の駅整備は所在地自治体が主体となる部分が大きく、すべてを県や国

の事業にすることは難しい面がある。

ただし、活用できる国・県の補助制度はできる限り活用し、市の負担を抑える必要がある。

【市民側】

駅事業には多額の費用がかかる。財政が厳しいのであれば、事業を再設計し、規模やコストをもっと圧縮することを検討すべきではないか。

一部の議員はそのような主張をしているが、議会全体として十分な議論がされているようには見えない。

【市民側】

駅周辺の踏切についても課題がある。自由通路だけでなく、西側の踏切を今後どうするのか、踏切対策も含めて考える必要があるのではないか。

【市民側】

安藤市長の1期目に、財政難を理由として駅事業を凍結・見直しする話があったものの、議会側の反発で事業が進むことになったと理解している。

当時から議員をしていた方々は、財政が厳しい中でなぜ事業を進める判断をしたのか。

【議会側】

駅事業は市長就任後に突然始まったものではなく、それ以前から総合計画の中に位置付けられ、議会でも議論されてきた事業である。

当時、駅事業だけでなく教育関係を含め、既に計画されていた事業を財政上の理由から大きく見直す予算案が示され、議会から異論が出たという経緯がある。

総合計画に位置付けられ、積み上げてきた事業をどう扱うかという観点からも議論してきた。

【市民側】

その経緯は理解するが、財政が厳しいのであれば、計画があるからそのまま進めるのではなく、事業費を圧縮するなど改めて検討する必要があるのではないか。

【議会側】

事業を進めるに当たって、優先順位や財政状況を踏まえた十分な議論が必要なのはそのとおり。

一方、駅北側の住民にとって北口開設は長年の課題であり、駅へ行くため大きく迂回しなければならない地域もある。駅前整備や北口整備は、現在の負担だけでなく、20年、50年先のまちづくりや利便性も考えて判断する必要がある。

7 30年前と現在の財政・人口減少

【市民側】

約30年前に弥富へ来たとき、「弥富は財政が豊かだ」と聞いた。保育や子育て支援なども周辺自治体より充実していた印象がある。それが現在、なぜこれほど「財政が厳しい」と言われるようになったのか。高齢者や障がい者への支出が増えたという説明だけでは十分理解できない。

【議会側】

30年が経過し、公共施設やインフラが一斉に老朽化していることに加え、高齢化、福祉需要の増加、人口構造の変化など、自治体を取り巻く環境も大きく変わっている。既存サービスの維持と将来への投資をどう両立させるかが課題である。

【市民側】

人口減少こそ一番大きな問題だと思う。人口を増やす、あるいは減少をできるだけ抑える政策を考えてほしい。

8 地域公共交通について

【市民側】

チョイソコを利用しているが、スムーズに予約が取れないことがある。利用者が増えれば車両を増やすなどの対応も必要ではないか。日曜日も稼働してほしい。

【議会側】

利用が集中する時間帯には予約が取りにくい状況もある。

利用状況や需要を把握し、必要に応じて増車等を検討することになる。利用者にも早めの予約など協力をお願いしながら、制度を育てていく必要がある。

【市民側】

きんちゃんバスの料金は200円だが、年間の運行経費を考えると安すぎるのではないか。単に安くすることだけでなく、距離制なども含め、持続可能な運営を考えてほしい。

9 地域の環境整備・ごみ集積所

【市民側】

ごみ集積所の看板の字が消えているところがある。誰が管理するものなのか。

【議会側】

ごみ集積所は基本的に自治会・町内会で管理している。看板等が老朽化している場合は、地域の代表者を通じて市に相談することで対応できる場合がある。

【市民側】

公園や道路の雑草についても、定期的に手入れしてほしい。一方、市だけに任せるのではなく、市民ができることは協力してもよい。草刈り機の貸出しや必要なものの提供など、市民と行政が一緒に維持管理できる仕組みをもっと周知してほしい。

【議会側】

地域・自治会単位で利用できる制度もある。制度が知られていないこと自体も課題であり、周知について考える必要がある。

10 駅工事中の交通安全・通学路

【市民側】

JR 駅工事の仮囲いの塀が道路側にはみ出しているように感じる箇所があり、工事に伴って周辺道路の通行状況も変わっている。複数方向から車が集中する場所もあり危険を感じる。工事中を含め、周辺住民の安全対策を十分考えてほしい。

【市民側】

朝、登校児童の見守りをしているが、最近、中学生の自転車と乗用車の接触事故があった。

幸い大きなけがにはならなかったが、危険な交差点である。学校側への注意喚起や、横断歩道、路面表示、標識などの確認をしてほしい。

【議会側】

交通安全に関する具体的な意見として受け止める。地域から市へ要望を上げることも含め、関係機関と確認していく必要がある。

11 福祉・障がい者支援

【市民側】

障がいのある家族が施設を利用している。保護者も高齢になり、これまで親が連れて行っていた歯科医院へ連れて行くことが難しくなっている。施設を拠点とした訪問歯科診療のような仕組みがあれば、本人にも家族にも助けになる。今後の福祉施策を考える際に心に留めておいてほしい。

【議会側】

障がいのある方の歯科診療、特に通院が困難になった場合の支援についての意見として受け止める。

12 公共施設・クーリングシェルター

【市民側】

福祉センターをクーリングシェルターとして使用していることについて、周知案内をもっと分かりやすくしてほしい。

また、指定するのであれば、実際に避暑できる環境になっているかも確認してほしい。

13 暮らしの豊かさと予算の使い方

【市民側】

財政の専門用語は一般市民には分かりにくい、「自由に使えるお金が少なくなっている」ということに不安を感じる。だからこそ、限られたお金を何に使うのかを、より慎重に判断してほしい。

【市民側】

公園、市民プール、福祉施設など、身近な施設やサービスで無くなっていくものが多い。お金のかけ方について、もっと議会に説明責任を果たしてほしい。

一方、水郷公園のバスケットゴールのように、それほど大きなお金をかけなくても、子どもや大人が楽しみ、日々の暮らしの豊かさを感じられるものもある。

規模な事業だけではなく、日常生活の中で市民が「住んでいてよかった」と感じられるところにもお金を使ってほしい。

【市民側】

議会での決定に、本当に住民の意見が反映されているのか疑問を感じる。

学校再編なども新聞等で経過を知ることはできるが、市民には議論の中身が十分伝わっていないと感じる。弥富市は低い土地でもあり、防災も重要。限られた財源の中で、大型事業と日々の暮らし、防災、福祉などの優先順位をよく考え

てほしい。

【市民側】

以前は子育て支援が充実していたことも、弥富市へ移り住む理由の一つになっていた。

現在の財政状況に不安を感じる。議員には市政をしっかりチェックし、より良くしてほしい。市民も議会をしっかり見ていかなければならないと思う。

14 議会運営に対する意見

【市民側】

議会基本条例には立派な理念が書かれているが、実際の議会では十分な議論が行われているのか。

反対意見や少数意見についても、単に否定するのではなく、その内容を取り入れて議論することが必要だと思う。特定の議員だけが問題提起しているように見えることもある。議会全体としてもっと議論を深めてほしい。

【市民側】

議会傍聴にも参加しているが、議会運営について疑問を感じることもある。市民から見て分かりやすく、反対意見も含めて十分に議論する議会になってほしい。

【市民側】

議会をもっと市民に開いてほしい。平日昼間だけでなく、土曜日、日曜日、夕方など、市民が傍聴・参加しやすい機会を設けることも考えてほしい。

市民が議会を見る機会が増えれば、議員の活動も市民に伝わり、市民自身も選挙や議会にもっと関心を持つようになると思う。

【市民側・進行】

議会に対して厳しい意見もあるが、市民が議会を変える方法は、議会に関心を持ち、選挙に参加し、こうした場で意見を伝えることだと思う。

今日こうして議員が来て、市民と直接話をする事自体に意味がある。

15 議会側からの受け止め

【議会側】

本日は多くの率直な意見をいただいた。財政だけでなく、地域の環境整備、交通安全、福祉、公共交通、公共施設、駅事業、議会運営など、多くの課題について

て意見をいただいた。地域の具体的な課題については、市役所への要望だけでなく、議員にも気軽に声をかけていただきたい。

いただいた意見は議会に持ち帰り、今後の議会質問、予算・決算審査、行政への確認・提言などに生かしていきたい。

【議会側】

議員自身も学び続ける必要がある。今日いただいた意見を議会活動に生かせるよう取り組んでいきたい。

16 閉会

【市民側・進行】

本日は、議会の皆さんがそろって市民のところへ来て、直接話ができる貴重な機会となった。

出前カフェは、申込団体がテーマを決め、議会に来てもらうことができる仕組みであり、今日だけで終わらせず、今後もこうした機会をつくりたい。

予定の時間となったため、第1回出前カフェを終了する。

17 「ともに会」事前質問への回答

(1) 委員会報告の傍聴では資料が無く何を話されているかが分からないので 資料検索の為にスマホなど電子機器の使用を許可して欲しい

〔回答〕

弥富市議会傍聴規則では、携帯電話等は音が出ないように設定することとされています。資料の閲覧等を目的とした使用について明確な禁止規定はありませんが、撮影や録音は禁止されており、周囲の傍聴人の妨げにならないよう配慮していただく必要があります。

(2) 各委員長の委員会報告が、早口で分かりにくい、一般質問同様に報告の詳細を事前に配布して欲しい。

〔回答〕

ご意見として受け止めます。委員長報告をより分かりやすくお伝えできるよう、資料提供のあり方も含め、今後の課題として検討いたします。

(3) 会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略 とはどのような意味

〔回答〕

議会が必要と認めた場合には、本会議の議決により、委員会への付託を省略す

ることができます。

実際には、人権擁護委員の推薦など、委員会審査になじまない案件などで行われることがあります。

(4) 採決時退席 どういう意思表示ですか？

[回答]

退席の理由は議員によって異なります。結果として採決には参加しないことになり、賛否を表明しない意思表示として受け止められることが一般的です。

理由については、本人に確認していただくのが最も正確です。

(5) 一般質問の後に、議会カフェを行えば、もっと協聴者が増えると思うが

[回答]

もう少し、お考えをお聞きしたいと思います。

(6) 弥富市議会議員政治倫理規程の第3条に市民の貴務とあるが なぜ?(名古屋市は無い)

[回答]

自治体ごとに条例や規程の考え方は異なります。

主権者である市民も市政の担い手として自覚を持ち、市政の監視やまちづくりに参画する役割を担っているからです。議員だけでなく、市民の意識向上も公正な市政運営に欠かせないと考えます。

記録から確認できる主な論点

「財政が厳しい」とは具体的に何を意味するのか、市民に分かりやすく説明する必要性

市債・将来負担の増加と将来世代への責任

大型投資と身近な市民サービスとの優先順位

JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業の必要性、規模、設計・コスト、費用対効果

工業団地・企業誘致等による将来の自主財源確保と定住促進

道路、水路、公園、雑草、ごみ集積所等の身近な維持管理

人口減少への対応と、将来を見据えたまちづくり

チョイソコ、きんちゃんバス等の地域公共交通の利便性と持続可能性

障がい者支援、訪問歯科等、地域共生社会につながる具体的な生活課題

駅工事中の安全、通学路等の交通安全

クーリングシェルダー等、公共施設の機能と周知

議会基本条例の理念と実際の議会運営、行政監視機能

少数意見・反対意見を含めた議論の見える化

土日開催等、市民が議会に関心を持ち、参加しやすい環境づくり

編集者：堀岡敏喜 鈴木りつか

令和8年8月26日

弥富市議会議長 高橋八重典 殿

議会運営委員長 堀岡 敏喜